



3年次

「課題研究」発表会



これまで取り組んできた探究活動の集大成として、研究の過程と成果を発表しました。問いや仮説の設定、先行研究、実験やフィールドワーク、分析・考察など、多様で主体的な探究が紹介され、活発な質疑応答が行われました。中には、研究成果を踏まえて新たな問いを立て、追加研究に挑戦する発表も見られました。

神戸松蔭大学の待田教授より、「自分の視点で問いを立て、試行錯誤する過程にこそ学びの価値がある」と講評をいただき、生徒たちが探究を通して大きく成長したことがうかがえる発表会となりました。

最優秀賞



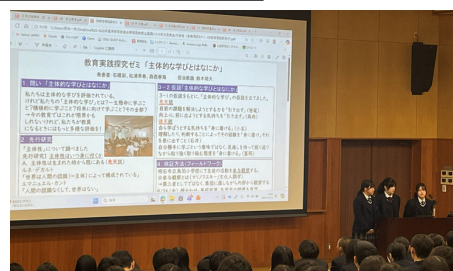
心理ゼミ 浅田彩美
「見てはいけない夢とその対策法
～精神と環境が与える夢への影響～」



国際・言語ゼミ 山下姫奈
「貧困世帯に生まれた子ども
の悩みとは」

2年次

「総合的な探究の時間」「理数探究」中間報告会



テーマ設定、先行研究の調査、フィールドワークの企画・検証など、これまでの探究の過程や学びの蓄積、今後の展望や課題について、ポスターやスライドを用いて発表しました。発表を聞く生徒にとっても、他のゼミの探究内容を知ることによって新たな視点やヒントを得ることができ、今後の探究をさらに深める良いきっかけとなりました。当日は、神戸松蔭大学の待田教授より、各発表の優れていた点に加え、今後どのように探究を発展させていくとよいかなど、探究活動において大切な視点について分かりやすく講評をいただきました。なお、近隣小学校との連携や授業実践を通して活動を行ってきた教育実践探究ゼミが、最優秀賞に選ばれました。

1年次

「地域産業学習」発表会

「産業社会と人間」の授業を通して、明石市内の企業について調査研究を重ね、企業の方々から直接ご指導をいただきながら学びを深めてきました。発表会では、各グループの代表生徒が、自分たちの考えや学びを相手に伝える工夫を凝らして発表しました。講評では、挑戦し続ける姿勢や努力の大切さについて温かい言葉をいただきました。なお、明石ケーブルテレビを紹介したグループが、その発信力や論理性が評価され、最優秀賞に選ばれました。生徒たちは、地域と関わりながら学ぶことで、働くことの意義や社会とのつながりを実感し、大きく成長する機会となりました。



12/18 韓国の光陽高校と対面交流



国際理解教育の一環として、韓国の光陽高校との対面交流を実施しました。本校からは18名の生徒が参加し、前回のオンライン交流から約1か月が経ち、実際に顔を合わせての交流が実現しました。

正門での出迎えを皮切りに、開会セレモニーでは両校の校長が互いの言語で挨拶し、会場は和やかな雰囲気に包まれました。

校内案内や授業見学では、生徒同士が学校生活の違いや共通点を語り合い、数学の問題と一緒に取り組む場面も見られました。文化交流では、光陽高校のダンス披露や、日本の遊び体験を通して笑顔が広がりました。言語や文化の違いを越え、「伝わる喜び」を実感できた貴重な一日となりました。



年次ごとの行事

1年次「留学生に聞く」



神戸市外国語大学に在籍する留学生3名を講師としてお招きし、日本での生活の印象や母国の文化、風習についてお話を伺いました。講演では、留学を志した理由や日本と母国の違い、日本の良い点や課題などが紹介され、本校生徒からの質問にも丁寧に答えていただきました。異なる文化や価値観に触れることで、外国への理解を深めるとともに、日本の文化や自分たちのあり方を見つめ直す機会となりました。

2年次「会場型 学校別進路ガイダンス」



西明石キャッスルプラザにて、学校別進路ガイダンスが実施され、進路希望に応じて進路講演会や就職・公務員講座、大学・専門学校別ガイダンスを計4コマ受講しました。講演会では、最新の入試動向や受験に向けた学習法、進学・就職に向けた心構えについて具体的な話があり、今後の準備について理解を深めました。また、学校別ガイダンスでは、各校の特色や学部内容、入試制度について直接説明を受け、自分に合った進路を考える貴重な機会となりました。

3年次「真冬の青春大冒険 in 明南」



「竹谷杯 Final～真冬の青春大冒険 in 明南～」が開催されました。校内全域を舞台に、ミッション、謎解き、フォトチャレンジなどにクラスで協力して挑戦しました。校内のヒントを手がかりに知恵を出し合い、写真撮影では笑顔あふれる場面が多く見られました。最後にはビンゴ大会とフォトスライド上映が行われ、仲間とともに過ごした時間を振り返りました。クラスの団結力を高め、思い出に残る行事となりました。